

スリーアール

# 3Rのススメ。



2024

秋

堀場製作所(HORIBA,Ltd.)は、京都に本社をおく分析・計測機器のメーカーです。今回は、当センターのコディネーターの酒井さんに、出身の堀場製作所の3Rの取組みを紹介していただきます。

## 再生資源化システム導入から16年

～「Joy and Fun for All おもしろおかしくをあらゆる生命へ」の実現をめざして～

株式会社堀場製作所(HORIBA,Ltd.)

### 事業領域 ～あらゆるところに、HORIBAの「はかる」技術～

現在、HORIBAの「はかる技術」は時代・分野を超えて、あらゆる技術の発展を支えてきました。普段みなさんの生活の中で、HORIBA製品を目にする機会は少ないと思いますが、気づかれなきさまざまな場面で、私たちの暮らしを支えています。



京都本社

## ◇HORIBAの歴史と企業文化

### 社是「おもしろおかしく」

この社には、常にやりがいをもって仕事に取り組むことで、人生の一番良い時期を過ごす会社での日常を自らの力でおもしろおかしいものにし、健康で実り多い人生にしてほしい、という前向きな願いが込められています。英語では「Joy and Fun」と訳され、世界中のホリバリアン※たちにも大切に共有されています。

### Our Future (ビジョン、ミッション、バリュー)

2023年に創立70周年を迎えたHORIBAグループでは、創立100周年を迎える30年後の未来を見据え、どのような会社でありたいか、そこで働くホリバリアンはどのような人財※であるべきかや、社会に対してどのような貢献ができるのかを世界中のホリバリアンと共に議論を重ね、2024年にグループ共通の「Our Future」(ビジョン、ミッション、バリュー)を制定しました。

社は「おもしろおかしく」のもと、これまで培った「ほんまもん」の技術と多様性に満ちたチームの力で、お客様や社会から必要とされる企業として持続的な成長をめざします。

Omoshiro-okashiku  
Joy and Fun



### Our Future ビジョン、ミッション、バリュー

#### Our Vision

おもしろおかしくをあらゆる生命へ  
Joy and Fun for All

Our Futureの実現に向けてHORIBAが注力する3つのフィールド

Energy & Environment Bio & Healthcare Materials & Semiconductor

#### Our Mission

ほんまもん多様性を礎にソリューションで未来をつくる  
Shape our future with solutions based on HONMAMON and Diversity

#### Our Values

チャレンジ精神 Spirit of Challenge 誠実と信頼 Reliability and Trust 卓越の追求 Pursuit of Excellence

社是

おもしろおかしく

※HORIBAでは社員のことを「ホリバリアン」と呼び、大切な財産と考え、「人財」と表現しています。

## ベンチャー精神

1945年、創業者の堀場雅夫が学生ベンチャーとして立ち上げた「堀場無線研究所」がHORIBAの原点です。戦後の物資供給が乏しいなかで創意工夫しながら独自技術の開発に挑んできた先人たち。そのチャレンジ精神は脈々と受け継がれ、革新的な技術や製品・サービスの創出に挑戦し続けてきたことで、最先端技術開発を支える高度な「はかる」技術をグローバルに提供する企業へと成長しました。ホリバリアン一人ひとりがオーナーシップと熱いベンチャースピリットをもち、失敗を恐れずに挑戦し続けるからこそがHORIBAの原動力であり、その精神は人事制度における「加点主義」にも表れています。

現場と経営をつなぐ意識と行動の変革

## ブラックジャックプロジェクト

「従業員の意識と行動の変革」を目的として、1997年に「ブラックジャックプロジェクト」を開始しました。2006年には海外グループ会社にも活動を展開。毎年12月に、世界中の拠点から選ばれた代表が一堂に会して最優秀テーマを決める「BlackJack Award World Cup」を開催しており、経営陣に対して直接おもしろいことを伝えることができるコミュニケーションの場にもなっています。テーマは業務効率の改善やコスト削減に加え、人材育成や組織力の強化など多岐にわたり、従業員自らが改革に取り組む企業文化形成の礎となっています。



## 独自のグローバル経営

HORIBAの強みの一つ、強力なグローバルネットワークを支えるのは、それぞれの現場で働く「人」です。「おもしろおかしく」働くことで従業員の無限の能力を引き出し、それを会社の推進力にしていく。このフィロソフィーを伝えるとともに、現地の文化を尊重した組織づくりやFace to Faceコミュニケーションを重視する独自のグローバルオペレーションにより、互いに寄り添い信頼できる関係構築に努めてきました。その結果、グループとしての一体感を高め、力強い相乗効果を生み出すことに成功しています。

多様な人材が働きやすい会社へ

## ダイバーシティの推進

グローバルな事業や市場の多様性を強みとするHORIBAを支えているのは、現場で活躍する従業員一人ひとりで。社会の変革が加速するなか、性別・年齢・国籍・障がいなどを乗り越えて多様な個性・才能を発揮できる風土を継承していくことが、新たな価値創造と強いHORIBAの実現につながると考えています。経営と現場の従業員、人事部門を有機的につなぎ、働き方やキャリアを考えるワークショップ、他社交流による意識改革、勤務時間や勤務地の柔軟性を高める制度導入などを推進しています。



～廃棄物から循環資源へ～

## HORIBA 3R 取り組み

### 1. 2008年より再資源化システム導入

社内で発生する不用品は、取り決められた分別方法により、各職場から計量（電子データ保存）を経て、「廃棄物ヤード」へ持ち込まれます。不用品として持ち込まれたもののうち「循環資源」となるものは、そこから【HORIBA分別工場】へ移動します。

この【HORIBA分別工場】には、解体工事を専門とする外部委託業者数名が駐在しているため、不用品はプロの手でさらに解体されます。HORIBAでは排出された不用品から素材や原料として資産価値を見出し、分別精度の向上をはかり続けています。再資源化システム導入より16年間、目標としているリサイクル率99%以上を維持・持続できる仕組みとなっています。

HORIBA  
分別工場

プロによる  
分別作業

循環資源へ  
生まれ変わる

### 2. 定期的な社員教育実施

一方、「廃棄物ヤード」に持ち込む従業員を対象に、廃棄物に対して「分別意識の向上」をはかるため定期的に教育を実施しています。われわれの事業所から排出される不要品は、金属やプラスチック、廃油、廃液（感染性含む）木くず、古紙、等々、多岐にわたるため、社内取決めした分別表の項目は数十項目にのぼります。そのため廃棄物に関する最低限の基礎知識の取得と、正しい意識改革を実施することが必要となります。

本教育は受講対象者が移動時間など、業務と業務の「すきま時間」に、自身のタイミングで受講することができるよう、動画を利用したWeb教育を採用、「廃棄物Quick講座」と名付け、各15分程度の3Part制で成り立ちます。

社内でもよくおこる「分別違い」を紹介したり、分別作業を怠った事が原因で実際に発生した事故など、わかりやすく説明しています。また管理者やパート社員など受講者それぞれの立場にあった項目を受講することで、従業員知識の底上げと、組織としての管理体制強化につながっています。

その他、各部署で「分別博士」と称した正しい分別を行うためのリーダーを決め、職場パトロールを実施。日々の困りごとや疑問点などの情報交換が行なわれ、より正しくまた迷いなく各自で廃棄物分別が行えるような取り組みにも力をいれています。

社員の意識改革が、廃棄物適正処理やリサイクルの向上につながり、また処理コストの低減にもつながる仕組みとして総務部が主体となり定期的に実施しています。

産業廃棄物教育～正しい分別編～

株式会社堀場製作所 総務部 環境・施設チーム  
2024年7月

## 一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター ニュースレター 「3Rのススム。」



発行：一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター

住所：京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町7番地  
京都経済センター4階 417号室

T E L : 075-352-0530 F A X : 075-352-0529

E-mail : [info@kyoto-3rbiz.org](mailto:info@kyoto-3rbiz.org)

URL : <https://www.kyoto-3rbiz.org>

【構成団体】京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・一般社団法人長田野工業センター・公益社団法人京都工業会  
公益社団法人京都府産業資源循環協会・特定非営利活動法人KES環境機構・京都府・京都市

